

コイの産卵



2015年5月3日、前日に仕掛けたカメ捕獲用のワナを引き上げると、巨大な**コイ**が入っていた。**全長60cm以上**はありそうだ。ワナの中のエサ（イワシ）に惹かれて入ってしまったのだろう。岸に引き寄せると大きな水しぶきが上がる。ワナを持ち上げようとしたが、重すぎてとても無理だ。水しぶきを避けながら大急ぎでワナから解放した。

コイは**4月から6月**にかけて**産卵**するとされている。科学部カメ班が、佐野市の三杉川で3月下旬に調査を行ったときには、すでに産卵行動が始まっていた。卵を持った大きな雌を数匹の雄が追っかけていくのだ。さらに、びっくりすると猛スピードで一直線に泳ぎ、川の中を歩いている私たちの足にも容赦なくぶつかってくる。大きなコイだとかなりの衝撃がある。

産卵は**午前中**が多く、流れの緩い場所で、葦などの茎や根などに卵を産み付けるといわれている。**5月2日**には、水生植物の近くにいた数匹のコイの周囲の水が一瞬、白く濁る様子を観察した。おそらく、産み出された卵に雄が精子を放出したのではないだろうか。

ところで、不思議なことがある。三杉川にはたくさんいるはずの**コイの稚魚**を今まで一度も捕獲したことがないのである。見つかるのは、クチボソやメダカばかりである。もし、皆さんがどこかでコイの稚魚（数センチ）を捕まえたら、どんな場所にいたのか教えて欲しい。**意外なところに、謎は潜んでいるのだ。**

